

議員提出議案第16号

带状疱疹ワクチンの助成制度創設を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条の規定により提案理由を付け提出します。

令和4年12月14日

富山県議会議長 渡 辺 守 人 殿

提出者 富山県議会議員

横	山	栄
井	上	学
山	本	徹
火	爪	弘子
奥	野	詠子
吉	田	勉
山	崎	宗良
岡	崎	信也
藤	井	大輔
澤	崎	豊
庄	司	昌弘

令和4年12月14日

提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 あて
財務大臣
厚生労働大臣
内閣官房長官

富山県議会議長 渡辺守人

带状疱疹ワクチンの助成制度創設を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるともいわれている。

よって国会及び政府におかれては、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性などを早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度創設を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提 案 理 由

帯状疱疹は、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。帯状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額で接種を諦める高齢者も少なくないことから、一定の年齢以上の者に対するワクチンの有効性などを早急に確認し、帯状疱疹ワクチンの助成制度創設を強く求めるものである。